

「肥後銀行DX計画」

株式会社 肥後銀行
2021年7月30日

- お客様、地域、社員とともに、より良い未来を創造する「地域価値共創グループ」を目指し、持続可能な地域社会の実現に貢献してまいります。

私たちの共創ビジョン ～10年後を見据えて～

お客様、地域、社員とともに、より良い未来を創造する
『地域価値共創グループ』への進化

経営理念の実践 共通価値の創造

お客様とともに

顧客価値の創造

地域社会とともに

社会価値の創造

社員とともに

社員価値の創造

企業価値の向上

株主価値の創造

九州フィナンシャルグループ中期経営計画

持続可能な地域社会への貢献（SDGs）

2. DX推進の方向性 (1) 全体像

- 社会的・経済的な不確実性が高まる中、私達の存在意義（パーパス）を体現すべく、デジタルテクノロジーを活用したビジネスモデル転換を通じて、持続可能な地域社会を実現していきます。

私達の 存在意義 (パーパス)

私達は、お客様や地域の皆様とともに、お客様の資産や事業、地域の産業や自然・文化を育て、守り、引き継ぐことで、地域の未来を創造していく為に存在しています

現在の姿

総合金融グループ
(従来型の地域銀行)

不確実性拡大・破壊の脅威

外部環境

【地方の構造的課題】

人口減少・少子高齢化

域内産業の縮小

地政学リスクの拡大

感染症問題

自然災害の頻発

低金利環境の継続・規制緩和

急速な技術革新と実装加速

ビジネスモデルの転換

新たな体験・サービスの提供

プロセス改革による生産性向上

デジタルテクノロジー

目指す姿

顧客価値

社会価値

社員価値

『地域価値共創グループ』
企業価値

持続可能な地域社会

2. DX推進の方向性 (2) ビジネスモデルの転換

- 従来型の価値提案にデジタルテクノロジーを取り入れ、当行が地域社会に提供する価値を外部環境の変化に適応させ続けていくことで、当行と地域の価値共創を実現していきます。

ビジネスモデルの転換

新たな体験・
サービスの提供

デジタル技術を活用
した新たな顧客体験

- ・デジタルチャネルの拡充
- ・データ活用による新たな顧客価値提案
- ・顧客とのデジタルコミュニケーション能力向上

地域社会のDX

- ・地域ワイドでの各種データ活用による産業活性化支援
- ・グループ会社と連携したDX取組支援

デジタルテクノロジーによる変革

プロセス改革に
よる生産性向上

業務プロセス改革

- ・デジタルを活用した店舗のあり方改革
- ・本部業務の削減、効率化、ペーパーレス化
- ・ワークスタイル改革

コスト構造改革

- ・レガシーシステムの改廃
- ・クラウド活用、モダナイゼーション

地域社会への新たな価値提案
Ⅱ『地域価値共創』グループ

従来型の価値提案
Ⅱ総合金融グループ

外部環境の変化

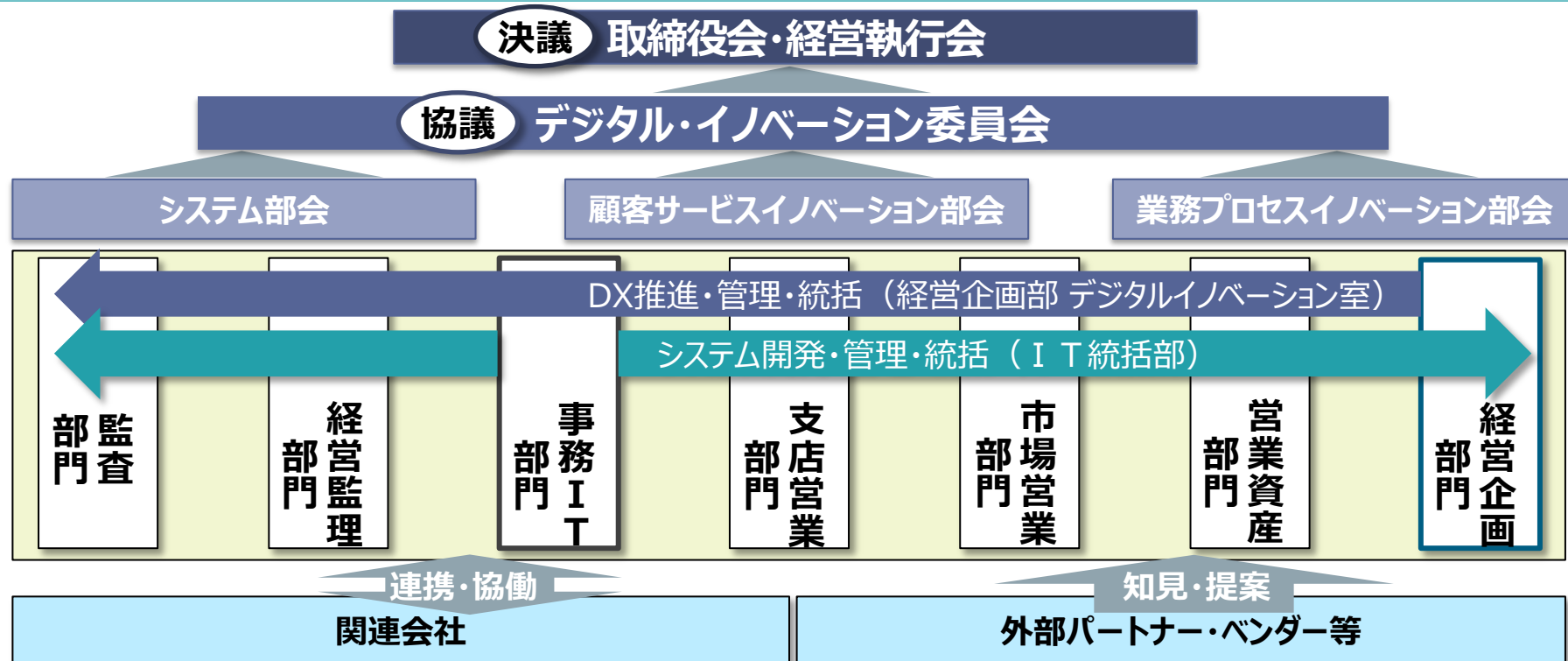
3. 主なDX施策

- DX推進に必要なデジタルテクノロジーを整理し、外部リソースも活用しながら、中期経営計画（2021～2023年度）において「新たな体験・サービスの提供」・「プロセス改革による生産性向上」に繋がるDX施策を計画しています。



4. DX推進態勢 (1) 体制図

- 代表取締役頭取を委員長とする「デジタル・イノベーション委員会」にて、DXに関する方針・戦略策定・進捗管理等を行い、取締役会または経営執行会にて決議する体制を構築しています。
- 経営企画部およびIT統括部にて、社内横断的にDXを推進し、全体最適化を図っています。



4. DX推進態勢 (2) DX推進人材

- DXを推進する人材を定義し、資格・研修・実務経験の観点から行内で認定します。
- 2023年度までに100名のDX推進人材の育成・登用を目指します。

DX推進人材

※当行の定義ではエンジニア/プログラマー含む

プロデューサー

DXやデジタルビジネスの主導

ビジネスデザイナー

DXの企画・立案・推進等

UI/UXデザイナー

ユーザー向けデザイン担当

データサイエンティスト

AI等のデジタル技術やデータ解析

アーキテクト※

DXに関するシステム設計

DXコンサルタント

地域事業者向けDX推進

資格・研修・OJT

外部人材登用（中途採用・出向受入）

認定

資格取得または研修受講 + 実務経験 → 行内認定

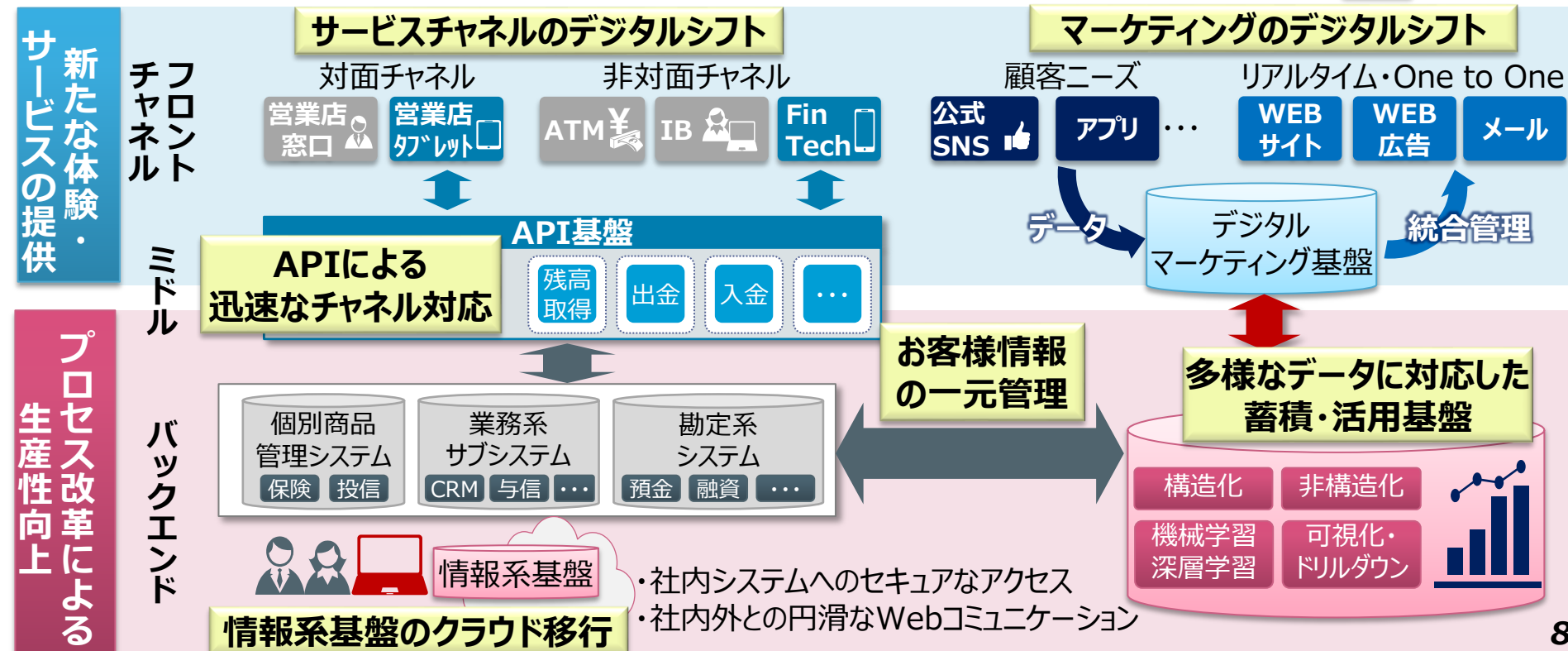
2023年度
目標

100名（現状：資格取得者45名、研修受講者60名）

5. システムインフラ

- デジタルテクノロジー活用によりスピーディかつ低コストに新たな体験・サービスを提供し、そこから生み出されるデータを駆使するシステムインフラを 2023年度までに順次整備していきます。

…整備領域



- 持続可能な地域社会の実現に向け、当行財務指標のほか、地域への貢献度、お客様の満足度、社員の幸福度をK P Iとして設定しています。

指 標		2020年度実績	2023年度計画
地域への貢献度	熊本県GDP	未公表	5.6兆円（2030年6.4兆円）
お客様の満足度	お客様満足度（個人）	78%	85%
	お客様満足度（法人）	79%	85%
社員の幸福度	従業員満足度	61%	70%
コア業務純益		150億円	171億円
顧客向けサービス業務利益		41億円	82億円
当期純利益		86億円	125億円
役務利益比率		11.9%	15.2%
OHR		69.4%	65.7%

- 総合的な管理指標としての「DX推進指標」に加え、「新たな体験・サービスの提供」・「プロセス改革による生産性向上」「DX人材育成」の観点からもKPIを設定しています。

項目	指 標	2020年度実績	2023年度
総合指標	DX推進指標（平均値）	1.5	3.0
新たな体験・サービスの提供	非対面チャネルのべ利用者数 ※個人IB、通帳アプリ、KFGアプリ	7.6万人	20万人
プロセス改革による生産性向上	成長・戦略分野への配置転換	—	260人
	事務削減時間（累計）	—	▲50万時間
DX人材育成	DX推進人材	—	100人
	ITパスポート取得	39人	500人

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。
こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。
将来の業績は、経営環境の変化等により、目標対比異なる可能性があることにご留意ください。

本件に関するお問い合わせ先
肥後銀行 経営企画部 デジタルイノベーション室
TEL 096-326-8678